

## 【概要】

### 2016年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用者編】(第1回)

#### I 調査の概要

本調査は、調査対象期間(2016年3月～2016年9月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。(回答数:1746件)

#### II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

##### 1 「変動型」の利用割合は49.2%と増加、「固定期間選択型」も36.9%と増加<p. 3>

- ・「全期間固定型」の利用割合は、13.9%(前回調査:36.0%)と減少
- ・「固定期間選択型」は、36.9%(前回調査:25.3%)と増加
- ・「変動型」は、49.2%(前回調査:38.7%)と増加

##### 2 今後1年間の住宅ローン金利見通しは、全体では「ほとんど変わらない」が増加<p. 14>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通しは、全体では「ほとんど変わらない」が増加し、「現状よりも低下する」が減少

##### 3 利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が圧倒的多数<p. 19>

- ・利用した住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」が69.6%(前回調査:54.0%)と圧倒的多数
- ・「将来の返済額をあらかじめ確定しておきたかったから」は、18.0%(前回調査 13.1%)と増加

※今回調査の結果は、調査会社に変更となったため、回答者の基本属性が前回調査と比べ大幅に変動(年齢では30歳代が増え、地域では首都圏が減るなど)しているので、前回調査との比較を行う際には注意する必要があります。

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ(<http://www.jhf.go.jp/files/300332546.pdf>)に掲載